

平成22年度

(第1回)

(集団研修)

地域住民の参加による多様な森林保全

実施要領

平成22年8月

独立行政法人国際協力機構(JICA)

Japan International Cooperation Agency

## 目 次

1. 案件基本情報	1
2. 案件の背景・目的	1
3. 案件目標	2
4. 単元目標	2
5. 研修成果品	2
6. 研修員参加資格要件	3
7. 研修実施体制	3
8. 研修の評価	4
9. 研修付帯プログラム	5
10. 主な宿泊場所	6
11. その他	6

### 参考資料

- 付表－1 研修員関連情報
- 付表－2 研修日程
- 付表－3 カリキュラム(案)
- 付表－4 年度別受入実績表

## 1. 案件基本情報

(1) 案件名

和文:(集団研修)地域住民の参加による多様な森林保全

英文:Group Training Program on “Various Forest Conservation with Community Participation”

(2) 受入期間

平成 22 年 8 月 22 日(日)～ 11 月 13 日(土)

(3) 技術研修期間

平成 22 年 8 月 30 日(月)～ 11 月 12 日(金)

(4) 定員、割当国

定 員:12 名(受入数 12 名)

割当国:フィリピン、中華人民共和国、インド、スリランカ、バヌアツ、ケニア、ベトナム、モザンビーク、アルメニア(下線は受入国)

(5) 研修類型:人材育成普及型

(6) 使用言語:英語

## 2. 案件の背景・目的

森林資源の重要性が認識されて久しく、その森林資源が人類のために有効に利用され、再生されることの必要性を多くの世界の人々が認識することが重要である。

本案件は、わが国の森林の歴史と役割、森林行政、住民の参加などによる森林の保全・造成への取組みの重要性、森林施業技術、森林造成技術について森林保全と人間活動が効果的に共生し成果を生み出す知識・技術習得の研修を行い、各国で現存する森林の保全、人間と森林の共生、育成、森林造成促進の中核となる人材を育成することを目的とする。

### 3. 案件目標

森林保全などの事業を地域住民参加型で実施するために必要な普及指導方法が、所属組織の関連部署に共有される。

### 4. 単元目標

- (1) 地域住民の参加による多様な森林保全が効果的に成果を生み出す手法を説明できる。
- (2) 森林資源と森林の活用の把握手法を実践できる。
- (3) 森林の生物多様性保全上の役割を説明できる。
- (4) 森林・林業の習得知識・技術を活かした活動を実践できる。

### 5. 研修成果品

- (1) 本邦研修実施前

「初期報告書(Inception Report)」の作成

研修の主題にかかる研修員および所属組織の課題やそれに対する現在の組織としての対策・枠組みをまとめ、本邦でのコース開始時に発表する。

- (2) 本邦研修終了時

「中間報告書(Interim Report)」の作成

研修で学んだ知識や技術等を基に活動計画(案)を作成し、コース終盤に発表する。

- (3) 帰国後の事後活動

「最終報告書(Final Report)」の作成

研修員は帰国後、中間報告書に書かれた活動計画(案)を所属組織に報告、関係者と共有のうえ、最終的な活動計画(案)をまとめ、帰国後3ヶ月以内に JICA 帯広に提出する。JICA 帯広は同報告書を関係者と共有のうえ、次年度以降に実施される研修に内容をフィードバックし、必要に応じフォローアップを検討する。

## 6. 研修員参加資格要件

(募集要項記載条件)

- (1) 森林保全にかかる普及活動に従事している者。
- (2) 森林保全管理を含めた森林・林業の基礎的知識を有し、森林保全などの関連業務を 3 年以上の経験を有する者。
- (3) 野外活動が多いため、十分な体力があり女性は妊娠していない者。

(各案件共通資格要件)

- (4) 所定の手続きにより割当国政府から推薦されること。
- (5) 大学卒業あるいは同等の学力を有すること。
- (6) TOEFL iBT 72 点 (CBT 200 点 / PBT 533 点) 以上に相当する英語能力を有すること。
- (7) 心身ともに健康なこと。
- (8) 軍に属していないこと。

## 7. 研修実施体制

本案件は、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構帯広国際センター (JICA 帯広) が計画するコースの実施に関する業務を社団法人海外林業コンサルタント協会 (JOFCOA) に委託し、関係諸機関の協力により実施・運営する。研修期間中、財団法人日本国際協力センター (JICE) 所属の研修監理員を配置する。

具体的な業務分担は次のとおり。

### (1) JICA 帯広

ア. 実施計画書作成

イ. 評価

ウ. 実施予算の執行管理

エ. 募集要項および実施要領等の作成 等

(2) JOFCA

ア. 日程表の調整・作成

イ. 講師、視察先等への連絡・確認

ウ. テキスト、資料等の手配 等

(3) コースリーダー

研修の計画、実施、評価の全般にわたる助言 等

(4) JICE

ア. 関係者間の連絡調整

イ. 通訳・翻訳 等

## 8. 研修の評価

(1) 評価の目的

案件目標(1頁参照)に基づき、研修成果の測定・分析を通じてコース終了時に当初目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本案件の質的改善を図る。

(2) 評価の方法

ア. コースリーダー等による到達目標の達成度把握

イ. 研修員が提出する質問票による評価

ウ. JICA による評価

(3) 評価会

研修終了時に質問票の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

(4) 反省会

研修員の帰国後に、評価結果に基づき JICA 帯広、コースリーダー、JOFCA、JICE が参

加し、研修の目的・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度のコース改善に向けて対応方針を検討する。

## 9. 研修付帯プログラム

### (1) ブリーフィング

来日直後に帯広国際センター(以下 OBIC: Obihiro International Center)で実施する。JICA 業務およびコース概要説明、研修員登録、旅券・査証の有効期間の確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

### (2) ジェネラルオリエンテーション

OBIC で実施し、日本の社会と日本人、歴史・文化、政治・行政、経済、教育などを紹介する。

### (3) 日本語講習

研修員の日常生活および国際交流のため、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として5時間の日本語講習を実施する。

#### 付帯プログラム日程(予定)

日 程	内 容
8月23日(月)	ブリーフィング
24日(火) 午前 午後	ジェネラルオリエンテーション 講義「日本の経済」 生活オリエンテーションバスツアー
25日(水) 午前 午後	ジェネラルオリエンテーション 講義「日本の教育」「日本の社会と日本人」 講義「日本の政治・行政」「日本の歴史・文化」
26日(木)	日本語講習
27日(金)	日本語講習

## 10. 主な宿泊場所

帯広国際センター(OBIC)

所在地: 〒080-2470 帯広市西20条南6丁目1-2

Tel(0155)35-2001 Fax(0155)35-2213

## 11. その他

### (1) 修了証書

研修を修了した研修員に JICA から修了証書を授与する。

### (2) 研修員の待遇

#### ア. 入国資格

技術研修を受けるために来日する者は研修査証を取得し、滞在中は日本国法規の適用を受ける。

#### イ. 滞在費

JICA 規程に基づき研修を受けるために必要な手当が支給される。

### (3) 国際理解教育

国際理解教育の支援のため、本コースに地域の小中学校の生徒や住民との相互理解のためのプログラムが一部含まれている。

以上



独立行政法人国際協力機構 帯広国際センター  
〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2  
TEL : 0155-35-1210 FAX : 0155-35-1250  
ホームページ : [www.jica.go.jp/obihiro/](http://www.jica.go.jp/obihiro/)  
メール : [jicaobic@jica.go.jp](mailto:jicaobic@jica.go.jp)

## 研修員関連情報

研修員情報（英語力はリスニング／スピーキング／記述読解能力の順に4段階で示す。A:優、B:良、C:可、D:自信なし）

No	①氏名②研修員番号 ③年齢④性別 ⑤国名	①現職②現職期間 ③最終学歴（専攻） ④英語力⑤研修経験	①候補者の業務内容 ②所属先の業務内容	特に関心のある項目
1	① Dr. BAKUNTS Satenik Hrachik ② D-10-03423 ③ 31 ④ 女 ⑤ アルメニア	① 農業省ハヤンター-SNCO(国家非営利組織) 森林資源調査・利用部主任専門官 ② 4年 ③ 土壌・農芸化学・改良科学センター土壌科学 ④ BBBB ⑤ エジプト国際農業研究センター(エジプト) 10月～12月'08 土壌・水管理	① ・森林伐採者の伐採量及び伐採形態の精査 ・地域住民、他組織、森林管理署からの申込書、苦情、手紙などに対応 ・森林資源調査計画、森林図作成に関する活動の監督 ② 森林保護、保全、復旧および森林の有効利用； ・森林資源調査 ・森林利用許認可 ・森林経営計画に基づいた年間伐採量決定 ・伐採資金調達 ・木材供給、造林、保育、保全 ・伐採跡地検査 ・森林復旧、造林 ・森林資源の経済的有効利用	・地域住民意識改善手法 ・農村貧困対策 ・社会林業 ・代替燃料利用促進 ・合法的な林産物供給 ・森林組織の改革 ・モニタリング、管理手法 ・森林認証制度
2	① Ms. XU Jing ② D-10-04180 ③ 27 ④ 女 ⑤ 中華人民共和国	① 南京市植物保護・検疫所 アシスタントアグロノミスト（農学助手） ② 2年 ③ 南京農業大学 植物保護 ④ ABAB なし	① マンフライセンチュウ、ヒメヤブコブ（終節幼虫）などの森林害虫の行動モニタリングおよび総合的害虫管理戦略の開発により南京市の森林、林業の保護 主な活動；生物的、物理的、化学的防除および害虫媒介者の防除により害虫から森林を保護する ② ・植物多様性と生態学的調和を目的とする森林、農作物の主要害虫のモニタリングおよび総合的害虫管理戦略の開発	・森林の生物多様性保全 ・森林、林業に関する普及制度、手法 ・日本の森林、林業に関する普及制度の実践手法  ・森林経営に関する問題およびその解決策
3	① Dr. RAMAKANTHA Venkataram ② ③ 55 ④ 男 ⑤ インド	① マニプル州森林管理局 森林・生物多様性主席保護官 ② 1年 ③ インド森林大学(林学)'84～'86 森林研究所(林学・環境)'03～'06 ④ AAAAA ⑤ ウェールズ大学(UK)2/3～2/28/'02 生物多様性保全、管理	① ・気候変動対策などのための生物多様性の自生地および自生地外保護に関する技術投入 ・野生生物保護に関わる活動 ・生物多様性保全および森林資源の持続的利用 ② ・森林資源の持続的利用および保全 ・保護地域を設定し、生物多様性の自生地および自生地外保護に努力する	・利用可能な資源および山村住民のニーズの評価手法 ・分収林制度（森林資源から得られる利益の共有手法） ・日本の山間地で実施されている多毛作システム
4	① Mr. MBITHI Daniel Muthike ② D-10-03113 ③ 50 ④ 男 ⑤ ケニア	① ケニア森林公社天然林管理保全局 参加型森林管理・火災管理部次長 ② 1年 ③ モイ大学（林学） ④ AAAAA ⑤ コロラド州立大学(USA)8/22～9/9/'04 森林、自然資源管理	① ・エコツーリズム開発 ・参加型森林経営促進 ・火災管理 ② 森林資源の保全、開発および持続的管理	・日本における森林、林業に関する課題および解決策の事例 ・地域住民による森林保護 ・海外における日本の林業協力 ・地方行政による森林経営 ・森林生態学および生物多様性保全 ・日本の普及制度、手法 ・PCM、アクションプランの作成

No	①氏名②研修員番号 ③年齢④性別 ⑤国名	①現職②現職期間 ③最終学歴（専攻） ④英語力⑤研修経験	①候補者の業務内容 ②所属先の業務内容	特に関心のある項目
5	① Mr. ABUTO George Omolo ② D-10-03980 ③ 36 ④ 男 ⑤ ケニア	① ケニア森林公社天然林管理保全局 乾燥地林業・集水域、生物多様性保全部 地区森林管理官 ② 1年 ③ モイ大学（林学） ④ AAAA ⑤ なし	① ・エコツーリズム開発 ・参加型森林経営促進 ・火災管理 ② 森林資源の保全、開発および持続的管理	・日本における森林、林業に関する課題および解決策の事例 ・地域住民による森林保護 ・海外における日本の林業協力 ・地方行政による森林経営 ・森林生態学および生物多様性保全 ・日本の普及制度、手法 ・PCM、アクションプランの作成
6	① Ms. ELINA Ernesto Lanea ② ③ 37 ④ 女 ⑤ モザンビーク	① 森林事務所 所長 ② 1年 ③ エドゥアルド・モンドラーネ大学 ④ CCCC ⑤	① ・生態系、造林などに関する研修実施 ・種子収集 ・放棄農地の植栽 ・在来種および外来種の増殖 ② ・森林および野生植物の持続的利用を促進し、森林の生産性向上および地域住民の生活水準改善に寄与する	・地域住民参加による森林資源の持続的利用
7	① Mr. FUENTES Adolfo Sabijon ② D-10-03990 ③ 51 ④ 男 ⑤ フィリピン	① 環境・自然資源省 コミュニティ環境・自然資源事務所 コミュニティ環境・自然資源担当官 ② 14年 ③ リセオ・デ・カガヤン大学（環境管理） ④ BBBB ⑤ なし	① ・違法伐採、不法侵入、虫害、その他違法行為からの森林及び資源保護 ・施業計画作成、実施、監督 ・上部機関の決定による政策実施、法規制施行 ・作業計画及び組織管理における最終確認および修正 ・現地調査による情報収集 ・職員の成績評価 ② ・自然資源の持続的開発の原動力となり、現世代及び次世代のために地域住民関与による環境、自然資源の保護、保全、管理を促進する	・わが国で応用可能な住民参加型森林保全に関する日本の成功事例
8	① Ms. RACELIS Angelita Velasquez ② D-10-03991 ③ 52 ④ 女 ⑤ フィリピン	① 環境・自然資源省森林管理局 地域密着型森林管理部 上級森林管理専門官 ② 19年 ③ グレゴリップ・アラネタ大学（林学） ④ BBBB ⑤ なし	① ・ルソン島におけるアグロフォレストリー、樹木農場、植林地造成などの高地開発に関するプロジェクトプロポーザルの審査 ・地域密着型森林管理に関する政策、指針、プログラムの開発、審査 ・地域密着型森林管理に関する行動計画などの審査、分析、技術的提案 ・ワークショップ、ミーティング、研修の実施および資料、レポート作成 ② ・森林資源の持続的管理において質の高いリーダーシップを発揮する	・日本の森林、林業 ・PCM ・アクションプラン作成
9	① Mr. AMBAGAHAWATTEGEDARA Anuruddha Weerakoon ② ③ 43 ④ 男 ⑤ スリランカ	① 中部州上水道・公衆衛生ユニット 次長 ② 5年 ③ ペレデニア大学院（植物学、動物学、化学） ④ ABAB ⑤ なし	① ・環境、環境教育、コミュニティ開発、モニタリング、評価に関する業務 ・プロジェクトプログラム開発 ・プロジェクト実施、監督、モニタリング、評価 ② ・安全な水および公衆衛生施設、環境教育の提供による住民の健康状態改善 ・社会経済的事業による住民の生活水準向上	・住民参加による森林保全 理由－地域住民に安全な水および公衆衛生施設の提供は、中部州上水道・公衆衛生ユニットの使命であり、安定的なサービスを提供するためには、地域住民関与を促進した森林保全による適切な水源管理が不可欠である
10	① Mr. AGALAKUMBUREGEDARA ② Amarananda ③ 39 ④ 男 ⑤ スリランカ	① 中部州上水道・公衆衛生ユニット 環境担当官 ② 11年 ③ スリジャワダネブアラ大学（林学、環境管理） ④ ABAB ⑤ なし	① ・水源保護、流域保護、土壌保全などに関する間管理プログラムのモニタリング ・衛生管理プログラムのモニタリング ・住民参加による社会開発活動 ② ・安全な水および公衆衛生施設、環境教育の提供による住民の健康改善 ・社会経済的事業による住民の生活水準向上	

No	①氏名②研修員番号 ③年齢④性別 ⑤国名	①現職②現職期間 ③最終学歴（専攻） ④英語力⑤研修経験	①候補者の業務内容 ②所属先の業務内容	特に関心のある項目
11	① Mr. DOVO Presley ② D-10-04165 ③ 31 ④ 男 ⑤ バヌアツ	① 森林局森林保護ユニット 森林保護官 ② 4年 ③ 南太平洋大学USP（地理学） ④ AAAA ⑤ 南太平洋諸国のヤングリーダー研修(日本) 8/22～9/9/'04	① ・森林保護に積極的な土地所有者の支援、指導 ・地域住民、学生の環境保護意識改善 ・森林の生態系および生物多様性に関する調査 ・生育域内、外の保護促進 ・荒地およびバッファゾーンの復旧 ・マングローブ生態系の保全、管理 ・森林および環境保全に関して他の関係機関との連絡調整 ② ・現世代及び次世代のための持続的森林経営	・環境、森林保全に関する項目
12	① Mr. TRAN Phuong Quang ② D-10-04181 ③ 34 ④ 男 ⑤ ベトナム	① 農業農村開発省クック・フォン国立公園 救出・保護チーム チーム長 ② 5年 ③ ベトナム林業大学(林学) ④ BBBC ⑤ 動物保護に関する指導者育成プログラム (ウエールズ) UK'06	① ・絶滅危惧霊長類救出プログラム、肉食動物、センザンコウおよび カメ保護プログラムの実施 ・ジャコウネコ繁殖、保護 ・来園者の意識改善のための公園内に案内板設置 ・森林間を対象とした保護動物の識別、救出、リハビリテーション技術に 関するワークショップ開催 ・プログラム実施のための資金調達 ② ・自然生態系、固有種の保護・保全・管理および自然資源、景観の復旧 ・固有種、絶滅危惧種の植物、動物相の保護に関する科学的研究 ・来園者を対象としたエコツアーリズム活動と環境教育の調整	・住民参加による森林保全 ・日本の森林、林業に関する現状と課題 ・調和の取れた森林保全と地域住民による森林利用 ・森林と森林資源の効用

## 平成22年度 日程(案)

月日	曜日	形態	項目	プログラム	講師または担当機関	宿泊
8/22	日			来日		帯広
8/23	月			ブリーフィング	JICA・北方圏センター	〃
8/24	火			オリエンテーション	〃	〃
8/25	水			オリエンテーション	〃	〃
8/26	木			日本語研修	〃	〃
8/27	金			日本語研修	〃	〃
8/28	土			休日		〃
8/29	日			休日		〃
8/30	月		(OBIC←→市役所)	市長表敬(9:15~9:45) コースオリエンテーション(10:30~11:30) インセプションレポート発表会(13:30~16:30) ティーパーティー(16:45~)	帯広市市民活動部親善交流課長 宮村 睦夫 JICA/JOFCFA 参与 長縄肇	〃
8/31	火	講義	日本の森林・林業の概要	①日本の森林・林業の現状と課題及び展望 ②日本の林政を担う組織と機能 (10:00~12:00,13:00~16:00)	JOFCFA参与 長縄肇	〃
9/1	水	講義	日本の森林・林業の概要	①森林関係の法律と森林計画制度②日本の造林技術 (10:00~12:00,13:00~16:00)	JOFCFA 参与長縄肇	〃
9/2	木	講義 視察	(OBIC←→現地) 地方行政と森林	帯広市の森林施業・緑化事業及び緑の環境モデル都市の概要 (10:00~12:00:OBIC講義/13:30~15:30:視察)	帯広市都市建設部 みどりの課みどりと花の係 渡部 愛	〃
9/3	金	講義 討論	森林保全と人間活動の共生	人々と森林ー日本の土地所有制度と森林 (10:00~12:00,13:00~16:00) ラップアップディスカッション(16:00~17:00)	技術士 岡部 廣二	〃
9/4	土			休日		〃
9/5	日			休日		〃
9/6	月	講義 実習	参加型手法	PCM手法(10:00~12:00,13:00~16:00)	JOFCFA参与長縄肇 /主任研究員山下 昌一	〃
9/7	火	講義 実習	参加型手法	PCM手法(10:00~12:00,13:00~16:00)	JOFCFA参与長縄肇 /主任研究員山下 昌一	〃
9/8	水	講義 実習	参加型手法	PCM手法(10:00~12:00,13:00~16:00)	JOFCFA参与長縄肇 /主任研究員山下 昌一	〃
9/9	木	講義 実習	参加型手法 討論	PCM手法(10:00~12:00,13:00~16:00) ラップアップディスカッション(16:00~17:00)	JOFCFA参与長縄肇 /主任研究員山下 昌一	〃
9/10	金	視察	(帯広←→新得) 森林資源の持続的利用	椎茸ほだ木施業(9:30~10:30) 椎茸出荷センター他(11:00~12:00,13:00~14:30)	新得町農林課林務係長福原 裕之 新得町しいたけ生産組合組合 副組合長 関根 悦朗	〃
9/11	土			休日		〃
9/12	日		(帯広→えりも)			えりも
9/13	月		(えりも→帯広) 森林保全と人間活動の共生	えりも緑化事業(9:30~11:30) 地域住民との対話集会(12:30~15:00)	日高南部森林管理署 署長 花木健英 治山課長松田 茂岩 えりも治山事業所主任 志田 有里絵 JOFCFA参与長縄肇	帯広
9/14	火	実習	(帯広←→糠平) 森林資源の把握	森林情報収集(10:30~12:00,13:00~15:00)	日本森林林業振興会札幌支部 帯広支所 松原 康時	〃
9/15	水	講義 視察	(帯広→本別→足寄→阿寒) 日本の森林・林業の概要	国有林の森林経営(10:30~12:00,13:00~15:00)	十勝東部森林管理署 署長 石井 裕一 治山課長 大門 一哉業務課長 神馬 基夫	阿寒
9/16	木	講義 視察	(阿寒→釧路) 森林保全と人間活動の共生	民有林における森林保全活動(10:30~15:00)	前田一步園財団 総務部長 西田 力博	釧路
9/17	金	講義 視察	(釧路←→標茶) 森林造成技術	パイロットフォレスト・炭焼き (10:30~12:00, 13:00~15:30)	根釧西部森林管理署 署長 中野 亭 流域管理調整官 横山宏幸 自然再生指導官 國井進	〃
9/18	土			休日		〃
9/19	日			休日		〃
9/20	月			休日		〃
9/21	火	講義 視察	(釧路←→北斗) 午前:森林の生物多様性保全の状況 午後:湿地生態系保全	湿地における野生生物保護(10:00~12:00) 釧路湿原視察(13:00~15:00)	(株)猛禽類医学研究所 代表・獣医師 斉藤 慶輔 釧路湿原展望台	〃
9/22	水	講義 視察	(釧路→浦幌→豊頃→帯広) 午後:日本の森林・林業の概要	①道有林の森林施業、②大断面集成材を使用した庁舎 の紹介(13:00~15:30)	北海道十勝総合振興局森林室 森林整備課長 尾谷 薫	帯広
9/23	木	講義 討論	日本の森林・林業の普及	日本の森林・林業技術普及の概要及び普及方法及び諸 外国等の森林・林業ケーススタディーの事例 (10:00~12:00,13:00~16:00) ラップアップディスカッション(16:00~17:00)	JOFCFA 参与長縄肇	〃
9/24	金	討論	その他	インテリムレポート作成検討・準備 (10:00~12:00,13:00~16:00)	JOFCFA 参与長縄肇	〃
9/25	土			休日		〃
9/26	日		(帯広→富良野)	休日		富良野
9/27	月	講義 視察	(富良野→札幌) 森林資源の持続的利用	東京大学演習林の森林経営法 東大演習林概要・林分施業法 (11:00~12:00,13:00~15:00)	東京大学演習林 林長 芝野 博文	札幌
9/28	火	表敬 講義		北海道森林管理局表敬訪問(9:20~9:30) 講義:北海道の国有林概要(9:30~11:00) 北海道庁表敬訪問(11:30~12:00)	北海道森林管理局企画調整部 企画課長補佐 梶岡 雅人 北海道水産林務部総務課 主査(国際交流) 渡辺 勉 /北海道水産林務部 林務局長予定	〃
9/29	水	講義 視察	(札幌→森林管理局→定山溪→札幌) 森林資源の持続的利用	高密度網を基盤とした天然林施業(定山溪) (10:00~12:00,13:00~15:30)	北海道森林管理局企画調整部 総務企画係長 阿地 克美 課長補佐梶岡 雅人	〃
9/30	木	講義	(札幌←→美瑛) 午前:森林資源の持続的利用 午後:森林資源の把握	持続可能な天然林施業のための更新戦略 (10:30~12:00) 森林資源把握方法 (森林GISの概要-GISに必要なデータの取り方を含めて) (13:00~15:00)	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林業試験場 林業経営部育林科 研究職員 中川 昌彦 企画指導部 資源解析科長 菅野 正人	札幌

月日	曜日	形態	項目	プログラム	講師または担当機関	宿泊
10/1	金	講義	森林の生物多様性保全の種々の状況	森林と海洋(10:00~12:00,13:00~16:00) (講義場所:ホテルサッポロメッツ)	四日市大学環境情報学部 教授 松永 勝彦	〃
10/2	土			休日		〃
10/3	日			休日		〃
10/4	月	講義	午前:地方行政と森林 午後:森林の生物多様性保全の種々の状況	北海道の森林行政 (10:00~12:00) 北海道の自然環境科学研究 (13:30~15:30) (講義場所:ホテルサッポロメッツ)	北海道庁水産林務部林務企画グループ 主査 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 環境科学研究センター 自然環境部主任研究員兼野生生物科長宇野裕之	〃
10/5	火	講義 視察	(札幌→江別) 森林の生態・生物多様性	育種と森林の遺伝資源 (10:30~12:00,13:00~15:30)	独立行政法人森林総合研究所林木育種センター 北海道育種場 育種課長 生方 正俊	〃
10/6	水	講義 視察	森林資源の持続的利用	森林施業の基礎知識(10:30~12:00,13:00~15:30) (場所:森林総合研究所/午前:講義・午後:視察)	独立行政法人森林総合研究所北海道支所 地域研究監 佐々木尚三	〃
10/7	木	講義	午前:森林の生態・生物多様性	森林動物(10:30~12:00) 森林植生(13:30~15:30) (講義場所:ホテルサッポロメッツ)	独立行政法人森林総合研究所北海道支所 森林生物多様性チーム長 上田 明良 植物土壌系研究グループ長 河原孝行	〃
10/8	金	表敬 講義 視察	(札幌→旭川) 森林資源の持続的利用	北海道林産試験場 場長表敬(11:00~11:10) 北海道における林産物の利用「北海道における林産物の利用状況」(11:10~12:15) 北海道における林産物の利用「木材利用と材質」(13:15~14:15) 林産試験場の概要・施設案内(14:15~15:30)	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林産試験場場長 浅井 定美 企画指導部 経営科長 石川佳生 利用部 材質科長 佐藤 真由美 企画指導部 主任研究員 新田紀敏	〃
10/9	土	講義 視察	森林の生物多様性保全の種々の状況	市民と自然とのふれあい(自然ふれあい交流館) (13:30~15:30)	自然ふれあい交流館副館長 松井則章 普及啓発員 濱本真琴	〃
10/10	日			休日		〃
10/11	月	移動	(札幌→帯広)	休日		帯広
10/12	火	講義 視察 討論	(帯広→幕別町忠類錦町) 午前:森林造成技術 午後:インテリムレポート作成指導	苗圃・苗木づくり(10:00~12:00) 研修前半レビュー及びインテリムレポート作成指導 (14:30~16:30)	(有)大坂林業 代表取締役 大坂和雄 JOFCA 参与 長縄肇	〃
10/13	水	講義 討論	森林保全と人間活動の共生	住民参加による森林管理 (10:00~12:00,13:00~16:00) ラップアップディスカッション(16:00~17:00)	北海道大学農学部 教授 柿澤 宏昭	〃
10/14	木	講義 視察	(帯広→芽室) 森林保全と人間活動の共生	森林組合の活動 (10:00~12:00,13:00~15:00)	十勝広域森林組合 村上市 悦郎	〃
10/15	金	視察	学校訪問	国際交流の推進		〃
10/16	土			休日		〃
10/17	日			休日		〃
10/18	月	講義	海外における日本の森林・林業協力	JICAによる林業協力 (10:00~16:00)	JICA地球環境部第一グループ	〃
10/19	火	講義 実習	森林資源の持続的利用 森林造成技術	間伐材利用促進(10:00~11:30) 森林修復のための技術(カミネッコンによる森林造成) (13:30~15:00)	株式会社サトウ代表取締役社長秋元紀幸 帯広NPOサポートセンター理事長 千葉養子	〃
10/20	水	講義 視察	(帯広→足寄) 午前:森林資源の持続的利用	落葉広葉樹林施業研究(11:00~12:00,13:00~14:00) 木質バイオマスエネルギー利用(ペレットの製造及び利用) (14:30~16:00)	九州大学北海道演習林 林長 久米 篤 足寄町長 阿久津 勝彦 経済課 商工観光振興室長 岩原 榮	〃
10/21	木	移動	(帯広→東京)			東京
10/22	金	表敬 講義	午前:日本の森林・林業の概要 午後:日本の森林・林業に関する制度	林野庁表敬訪問(10:00~10:10) 講義:国有林の森林経営(10:30~12:00) 日本の保安林制度(13:30~15:30) (農林水産省4F会議室)	林野庁計画課海外林業協力室長 清水 邦夫 海外林業協力室指導係長 山下 正輝 経営企画課 企画官 新島 俊哉 治山課課長補佐(企画班担当)金谷 範導	〃
10/23	土			休日		〃
10/24	日			休日		〃
10/25	月	講義	森林の生物多様性保全の種々の状況 日本の森林・林業に関する制度	地球温暖化防止での森林の役割 (10:30~12:00) 森林組合制度の概要(13:30~15:30) (農林水産省4F会議室)	林野庁計画課海外林業協力室 課長補佐(海外技術担当) 武藤 信之 林野庁経営課課長補佐(組合組織班) 宮敏輔	〃
10/26	火	講義	森林保全と人間活動の共生	持続的な森林管理の基準指標(林友ビル6F会議室) (10:30~12:00,13:00~16:00)	東京大学農学部 教授 白石 則彦	〃
10/27	水	講義	海外における日本の森林・林業協力 日本の森林・林業に関する制度	海外におけるNGOの取組み (林友ビル6F会議室)(10:30~12:00) 日本の森林・林業に関する法制度(林友ビル6F会議室) (13:00~14:30)	(特定)地球緑化センター 研究員 内田 邦雄 (財)林政総合調査研究所研究員 澤登 芳英	〃
10/28	木	講義 実習	(東京→西武新宿線南大塚) 森林資源の把握	森林管理におけるGISの利用事例及びGIS実習 (13:00~17:00)	(株)朝日航洋 奥泉 敦	〃
10/29	金	講義 交流	午前:森林保全と人間活動の共生 午後:森林保全と人間活動の共生	日本の森林と日本人の生活-変遷と現状 (10:30~12:00) 持続可能な森林経営の確立(モデルフォレスト他) (13:30~16:30)	(財)林政総合調査研究所参与 山垣 興三 JOFCA 会長 小澤 普照 林友ビル会議室	〃
10/30	土	移動	(東京→石垣島)	休日		石垣
10/31	日			休日		〃

付表-2

月日	曜日	形態	項目	プログラム	講師または担当機関	宿泊
11/1	月	講義 視察	(HOTEL←→石垣地方合同庁舎) 森林の生態・生物多様性	沖縄の森林の概要・保護林の概要 西表島の国有林(13:30～16:30) (場所:石垣地方合同庁舎)	九州森林管理局 西表森林環境保全ふれあいセンター所長 上席自然再生指導官 杉野 恵宣	石垣
11/2	火	講義 視察	(石垣島←→西表島) 森林の生態・生物多様性	マングローブ林の保全・保護 (10:00～12:00,13:00～16:00)	九州森林管理局 西表森林環境保全ふれあいセンター所長 上席自然再生指導官 杉野 恵宣 自然再生指導官 坂梨豪俊	〃
11/3	水	移動		休日		〃
11/4	木	講義 実習	(石垣島←→西表島) 森林の生態・生物多様性	10:30～12:00: 講義 熱帯林育種 13:00～15:00: クローン増殖技術実習	独立行政法人森林総合研究所林木育種センター 西表熱帯林育種技術園 園長 加藤 一隆 熱帯林試験係長 村山 孝幸	〃
11/5	金	視察	(石垣島←→西表島) 森林の生態・生物多様性	10:30～12:00: 講義 熱帯林育種 13:00～15:00: クローン増殖技術実習	〃	〃
11/6	土	移動	(石垣島→帯広)	休日		帯広
11/7	日			休日		〃
11/8	月			インテリムレポート作成		〃
11/9	火	討論	インテリムレポート	インテリムレポート作成		〃
11/10	水	討論	インテリムレポート	コースリーダーによるインテリムレポートに関する指導 インテリムレポート発表リハーサル・討論	JOFCA 参与長縄肇	〃
11/11	木	討論	インテリムレポート	インテリムレポート発表リハーサル・討論 評価会	JOFCA 参与長縄肇	〃
11/12	金	その他	インテリムレポート	インテリムレポート発表会・閉講式	JOFCA 参与長縄肇 JICA	〃
11/13	土			帰国		〃

カリキュラム (案)

単位:日

到達目標	項目	科目	講義	実習	視察	討論	担当講師・機関	講義・視察・実習等の目的	講義・視察・実習等の内容	
(1)森林保全と人間活動が効果的に共生し成果を生み出す手法を理解する。	日本の森林・林業の概要	日本の森林・林業の現状と課題及び新たな展開	0.5				JOFCA 長縄 肇	日本の森林・林業の現状と課題及び新たな展開を理解する	日本の森林・林業の現状と課題及び新たな展開	
		日本の林政を担う組織と機能	0.5				JOFCA 長縄 肇	日本の林政を担う組織と機能を理解する。	日本の林政を担う組織と機能	
		森林関係の法律と森林計画制度の概要	0.5				JOFCA 長縄 肇	森林関係の法律と森林計画制度の概要を理解する	森林関係の法律と森林計画制度の概要	
		日本の造林技術	0.5				JOFCA 長縄 肇	日本の造林技術事業について理解する	日本の造林技術の仕組みと実際	
		日本の森林・林業技術普及の概要及び普及方法	0.5				JOFCA 長縄 肇	日本の森林・林業技術普及の概要及び普及方法の概要を理解する	日本の森林・林業技術普及の概要及び普及方法の概要	
		国有林の森林経営	0.5	0.5			北海道十勝東部森林管理署長 石井裕一 治山課長 大門 一哉 業務課長 神馬 基夫	国有林について理解する。本別公園(治山の森)及び足寄「松川実験林(針広混交林の択伐施業)視察を含む」	国有林の概要と都市近郊公園における治山事業及び択伐施業実験林などを紹介する	
			0.5				林野庁経営企画課 企画官 新島 俊哉	国有林全般の森林経営を理解する	日本の国有林野事業の概要	
			0.5				北海道森林管理局 企画調整部企画課 課長補佐 梶岡雅人	北海道国有林の森林経営を理解する	北海道森林管理局の概要	
		苗圃・苗木づくり	0.5				(有)大坂林業 代表取締役 大坂 和雄	日本の民有林における林業経営を理解する	竹中山林の経営概要を紹介する	
		日本の森林・林業に関する制度	日本の保安林制度	0.5				林野庁治山課課長補佐 金谷 範導	日本の保安林制度の概要を理解する	日本の保安林の仕組みと内容
	日本の森林・林業に関する法制度		0.5				(財)林政総合調査研究所 研究員 澤登 芳英	日本の森林・林業法制度の概要を理解する	森林・林業に関する法律の歴史と現状	
	森林組合制度の概要		0.5				林野庁経営課課長補佐 宮 俊輔	日本の森林組合制度について理解する	森林組合の歴史、仕組み、内容	
	地方行政と森林	北海道の森林行政	0.5				道庁水産林務部林務企画グループ 主査 廣川 幸一	北海道の森林行政を理解する	北海道の森林行政行政	
		道有林の森林施業、大断面集成材を使用した庁舎の紹介	0.5				十勝森づくりセンター 森林整備課長 尾谷 薫	北海道の森林行政を理解する		
		帯広市の森林施業・緑化事業及び緑の環境モデル都市	0.5	0.5			帯広市都市建設部 みどりの課緑と花の係 渡部愛	帯広市の森林・緑化への取組を理解する	帯広市の森林の概要、施業の方針及び緑の環境モデル都市の概要	
	海外における日本の森林・林業協力	JICAによる林業協力	1.0				JICA地球環境部第一グループ	JICAによる協力の方針と内容を理解する	JICAによる森林・林業協力の歴史、現状、方向	
		海外におけるNGOの取り組み	0.5				(特定)地球緑化センター 研究員 内田邦雄	ボランティアによる海外緑化活動への取組事例を学ぶ	NPOによる海外における緑化活動への取組事例を紹介する	
		諸外国の森林・林業のケーススタディー	0.5				JOFCA 長縄 肇	諸外国における森林・林業協力の取り組みの事例を紹介する。		
	森林保全と人間活動の共生	人々と森林－日本の土地所有制度と森林	1.0				技術士 岡部廣二	日本の森林所有制度を理解する	日本の土地所有制度と森林所有制度の歴史と現状	
		えりも緑化事業、地域住民との対話集会	0.5	0.5			日高南部森林管理署署長 花木健英 えりも治山事務所主任 志田 有理絵	荒廃海岸の緑化「えりも岬国有林治山事業」の歴史を理解する	えりも緑化事業の施工経過と現状視察及び地域住民との対話集会	
		住民参加による森林管理	1.0				北海道大学 農学部 教授 柿澤宏昭	住民参加による森林管理の意義と方法を理解する	住民参加による森林管理の意義と方法等の説明	
		森林組合の活動	1.0				十勝広域森林組合 参事 村上 悦郎	森林組合による民有林経営など森林組合活動の実態を理解する。	森林組合(工場設備、作業現場を含めて)と森林所有者との関係など	
		持続可能な森林経営の確立	0.5				JOFCA会長 小澤普照	持続可能な森林経営の理論と方法論を理解する	持続可能な森林経営の理論と方法論を講義	
		持続的な森林管理の基準指標	1.0				東京大学農学部 教授 白石則彦	持続的森林管理の基準指標を理解する	各国の森林管理の基準について	
		日本の森林と日本人の生活－変遷と現状－	0.5				(財)林政総合調査研究所 参与 山垣 興三	日本人の生活と森林との係わり合いを理解する	日本人の生活と森林との係わり合いの歴史と現状を説明する	
	参加型手法	民有林における森林保全活動	0.5	0.5			前田一步園財団 山林課長 西田力博	日本の民有林における財団設立による「自然を壊さない取組み」を理解する	民有林のさまざまな態様と活動(国立公園内の民有林「前田一步園の経営」)	
		PCM手法	0.5	3.5			JOFCA 長縄 肇 山下 昌一	PCM手法を理解し、アクションプラン作成に活用する	PCM手法の説明と実習	
	(2)森林資源の把握手法と森林の効用を理解する。	森林資源の把握	森林情報収集	0.5	0.5			(財)日本森林林業振興会札幌支部帯広支所 松原 康時	収穫調査の実際を理解する	収穫調査手法とその実際
			森林資源把握方法(森林GISの概要－GISに必要なデータの取り方を含めて)	0.5				道立林業試験場 企画指導部 資源解析科長 菅野 正人	森林資源等把握のための森林GISの概要を理解する	森林の管理・経営上必要な森林資源等の把握のための森林GIS (GISに必要なデータの取り方を含めて)についての説明
			森林管理におけるGISの利用事例及びGIS実習	0.5	0.5			朝日航洋株式会社 プログラムマネジャー 奥泉敦	森林管理におけるGISの利用法を理解する	森林GISの基本的事項説明と森林管理における利用事例の紹介及びGIS実習
森林造成技術		パイロットフォレスト・炭焼き	0.5	0.5			北海道森林管理局 根釧西部森林管理署長 中野亨 流域管理調整官 横山宏幸 自然再生指導官 國井進	パイロットフォレストの造成について理解する	パイロットフォレストの造成の歴史、パイロットフォレストの造成に使用された機械類	
		森林修復のための技術	0.5	0.5			帯広NPO28サポートセンター 理事長 千葉 養子 東京大学演習林 林長 芝野 博文	森林修復のための技術を理解する。	カミネッコン(組立式再生紙植樹ポット)による植林技術について実習を含めて学ぶ 林分施業法の考え方と実際	
森林資源の持続的利用		東京大学演習林の森林経営法 東大演習林概要・林分施行法	0.5	0.5						
		森林施業の基礎知識	0.5	0.5			(独)森林総合研究所北海道支所 地域研究監 佐々木 尚三	森林施業の基礎知識を習得する	森林施業の基礎知識	
		持続可能な天然林施業のための更新戦略	0.5	0.5			北海道立林業試験場 林業経営部育林科 研究職員 中川 昌彦	持続可能な天然更新の基礎知識を習得する	天然更新の基礎知識	
		高密度路網を基盤とした天然林施業	0.5	0.5			北海道森林管理局 総務企画係長 阿地 克美 課長補佐 梶岡 雅人	定山溪国有林における高密度路網を基盤とした森林施業を理解する	北海道森林管理局石狩森林管理署定山溪国有林における高密度路網を基盤とした森林施業の理解を深めるため現地視察も行う。	
		林産物の利用	0.5	0.5			道立林産試験場 企画指導部経営科長 石川佳生 利用部材質科長 佐藤真由美 企画指導部主任研究員 新田紀敏	林産物(北海道における林産物の利用状況及び材質)の利用について理解する	林産試験場での研究状況の説明及び施設見学	
	落葉広葉樹林施業研究	0.5				九州大学北海道演習林 林長 久米 篤	落葉広葉樹林施業に関する取組を理解する	落葉広葉樹林の天然更新施業見学など		
	間伐材利用促進	0.5				(株)サトウ代表取締役社長 秋元 紀幸	間伐材の利用について理解する	間伐材の有効利用について		
	木質バイオマスエネルギー利用	0.5	0.5			足寄町経済課 商工観光振興室長 岩原 栄	木質バイオマス利用(ペレット)に関する製造、利用などの取組を理解する	間伐材など小径木の有効利用に向けた木質ペレットの製造過程などの視察		
椎茸ほだ木施業	0.5	0.5			新得町しいたけ生産組合 副組合長 関根 悦朗	椎茸栽培用ほだ木生産林(ミズナラ植栽試験林)の造成・保育等技術等の概要を理解する	しいたけモデル林で実習			
(3)森林の生物多様性保全上の役割を理解する。	森林の生態・生物多様性	育種と森林の遺伝資源	1.0				(独)森林総合研究所林木育種センター北海道育種場 育種課長 生方 正俊	遺伝資源としての森林と育種について理解する	遺伝資源としての森林及び林木育種	
		森林植生	0.5				(独)森林総合研究所北海道支所植物土壌系研究グループ長 河原 孝行	森林植生について理解する	森林植生についての説明	
		森林動物	0.5				(独)森林総合研究所北海道支所生物多様性担当チーム長 上田 明良	森林動物について理解する	森林動物の特徴、把握方法等についての説明	
		沖縄の森林の概要・保護林の概要・西表島の国有林 マングローブ林の保全・保護	1.0	1.0			九州森林管理局西表森林環境保全ふれあいセンター 所長 上席自然再生指導官 杉野忠宣	日本の森林の多様性(亜熱帯林)及びマングローブ林の保全・保護について理解する	亜熱帯保護林の管理等	
		熱帯林育種	1.0	1.0			(独)森林総合研究所林木育種センター西表熱帯育種技術園 海外育種研究主幹 加藤一隆 熱帯林育種研究室長 千吉良 治 熱帯林試験係長 村山 孝幸	日本での熱帯林育種への取組を理解する	熱帯育種技術園での育種活動	
		地球温暖化防止での森林の役割	0.5				林野庁海外林業協力室 課長補佐 渡辺達也	地球温暖化防止上の森林の役割について理解する	地球温暖化防止上の森林の役割についての説明	
	森林の生物多様性保全の種々の状況	森林と海洋	1.0				四日市大学 教授 松永勝彦	海、水産資源と森林の関係について理解する	海、水産資源と森林の関係についての説明	
		北海道の自然環境科学研究	0.5				北海道環境科学研究センター 自然環境部主任研究員兼野生動物科長 宇野裕之	野生動物の個体群管理と森林環境の保全について理解する	野生動物の個体群管理と森林環境の保全、特にエゾシカの個体群管理を事例として紹介する。	
		湿地における野生生物保護	0.5		0.5		猛禽類学研究所代表 斉藤慶輔	湿地における野生生物の保護管理の実際を理解する	環境省釧路湿原野生生物保護センターを訪問し、湿原における絶滅危険種の保護・増殖等に関する研究活動 北海道野幌森林公園(自然ふれあい交流館)を訪問する。	
		市民と自然とのふれあい	0.5		0.5		野幌森林公園事務所 自然ふれあい交流館副館長 山田健 普及啓発員 濱本真琴	北海道の原始林の面影を残した大都市近郊の平地林の保全保護と利用の調和を視察する。		
その他	コースオリエンテーション	0.5				JOFCAコースリーダー 長縄肇	研修コース概要説明、研修員に求められることなどを把握する	研修コース概要等に関してコースリーダーからの説明		
	学校訪問		0.5	0.5		OBIC	学校訪問で国際交流を図る	国際交流の推進		
	インセプションレポート発表会			0.5		JOFCAコースリーダー長縄肇	研修員各員の森林・林業分野の現状及び担当する業務内容、問題点を研修員及び関係者が互いに理解する	研修員が自国で抱える問題点の把握、研修員の学びたい内容の確認		
	研修前半のレビュー及び後半のオリエンテーション			0.5		JOFCAコースリーダー長縄肇	研修の整理を行う	研修前半の振り返りと後半の研修内容の説明		
	インセプションレポート作成検討・準備	2.0		2.5		JOFCAコースリーダー長縄肇	PCM手法を活用しアクションプランを作成する	アクションプランの作成		
	インセプションレポート発表会			0.5		JOFCAコースリーダー長縄肇	アクションプランを通して研修成果を理解する	アクションプランの発表		
	表敬等			1.0		林野庁、北海道庁、北海道庁、林産試験場、帯広市長、北海道森林管理局				
			28.5	7.5	9.5	4.5	合計 = 50.0			

## 年度別受入実績表

### 1. 応募／受入 人数

	平成22年度	累計
応募数	13名	13名
受入数	12名	12名

### 2. 研修員の出身国

○男性 ●女性

国名	22年度	累計
アルメニア	●	1名
中華人民共和国	●	1名
インド	○	1名
ケニア	○○	2名
モザンビーク	●	1名
フィリピン	○●	2名
スリランカ	○○	2名
バヌアツ	○	1名
ベトナム	○	1名
計	9ヶ国 12名	9ヶ国 12名